

船舶事故調査報告書

平成23年3月24日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 石川 敏 行

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年12月28日 11時00分ごろ～13時10分ごろの間）
発生場所	不明（岩手県大船渡市大船渡湾内）
事故調査の経過	平成22年4月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{こういち} 幸一丸、0.95トン IT3-24129（漁船登録番号）、個人所有 5.33m（Lr）×1.28m×0.64m、FRP ガソリン機関、30kW（漁船法馬力数）、昭和54年3月
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年1月8日 免許証交付日 平成20年6月16日 （平成26年5月9日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船外機の濡損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成21年12月28日11時00分ごろ、大船渡湾内で刺し網漁の操業中を僚船に目撃された。 所属漁業協同組合支所は、13時10分ごろ、大船渡市大船渡漁港沖に転覆した船のようなものが浮いているとの漁業者からの通報を受け、僚船を確認に向かわせた。 船長は、転覆して船首部を海面上に出している状態の本船付近の海面において、救命胴衣を着用し、船首につながったロープが足に巻き付いた状態で、仰向けで浮いているのを発見され、病院に搬送されたが、死亡が確認された。 船長の死因は、溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北～北西、風力 1～3、気温 2.8～4.8℃ 海象：海面水温 約11℃、潮汐 下げ潮の初期
その他の事項	本船には、他船と衝突したような痕跡はなかった。 船長は、健康状態は普通であった。 船長は、合羽の上に救命胴衣を着用していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 船長の死因は、溺水であった。 本船は、船長が1人で乗り組み、11時00分ごろ、大船渡湾内において刺し網漁の作業中を目撃されたのち、13時10分ごろ、所属漁業協同組合支所が、同湾内において転覆した船のようなものが浮いているとの漁業者からの通報を受けていることから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、船長が落水及び死亡に至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が大船渡湾内において刺し網漁の作業中を目撃されたのち、船長が同湾内で落水したことにより発生したものと考えられる。	